

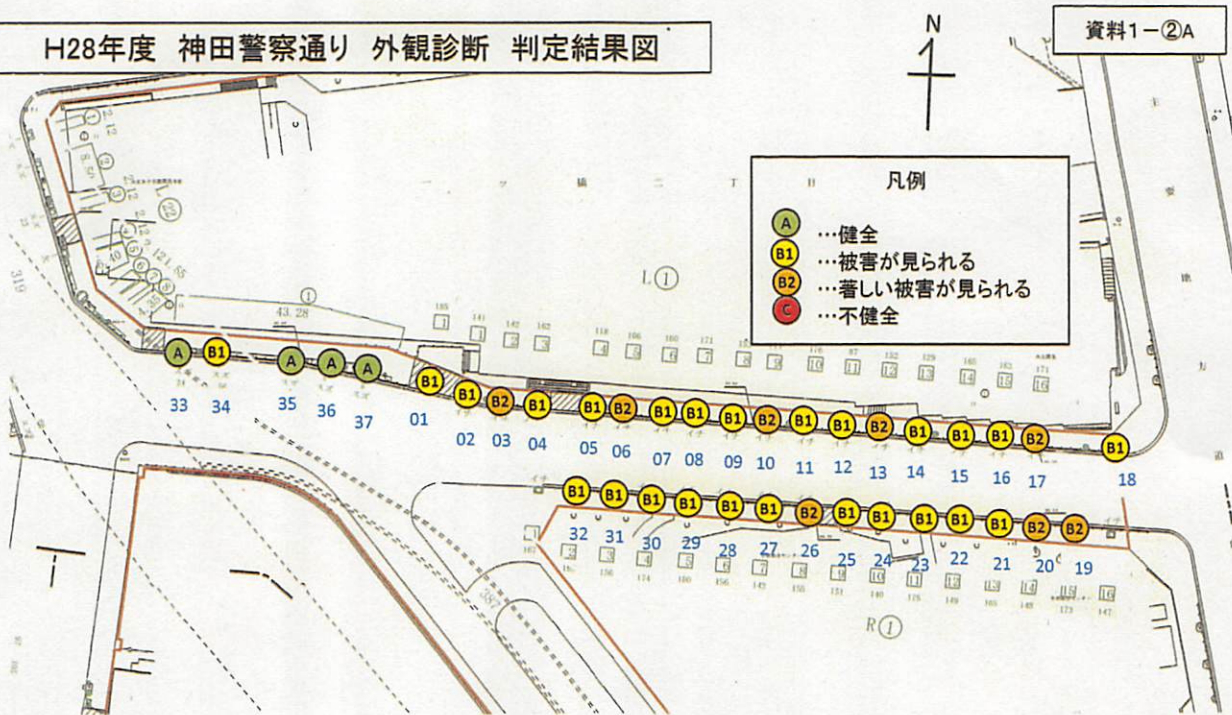


自転車通行環境整備工事(神田警察通り)(第25号)経緯

事項	日付	備考
工事契約締結	H28年3月17日	請負業者:常盤工業㈱
沿道への工事概要説明	H28年4月26日～	
警察施工協議	H28年6月16日(回答受領)	神田警察署
樹木看板設置	H28年6月27日～	
工事広報板設置	H28年6月29日～	
沿道への工事着手PR	H28年7月7日	
工事着手(枝落とし開始)	H28年7月19日～	
苦情による工事の一時中止	H28年8月10日	
区議会陳情審査 (企画総務委員会)	H28年10月3日 H28年10月17日	陳情3件、参考送付2件
工事中止命令通知	H28年10月18日	
第9回沿道整備推進協議会	H28年10月28日	
街路樹樹勢調査の実施	11月22日～3月24日	受託業者:(一財)街路診断協会
樹勢調査結果報告 (企画総務委員会)	H29年3月9日 H29年3月27日	

H28年度 神田警察通り 外観診断 判定結果図



イチョウ32本中		本数
A	健全	0本
B1	被害が見られる	24本
B2	著しい被害が見られる	8本
C	不健全	0本

神田警察通りI期工事 イチョウ樹勢調査結果一覧

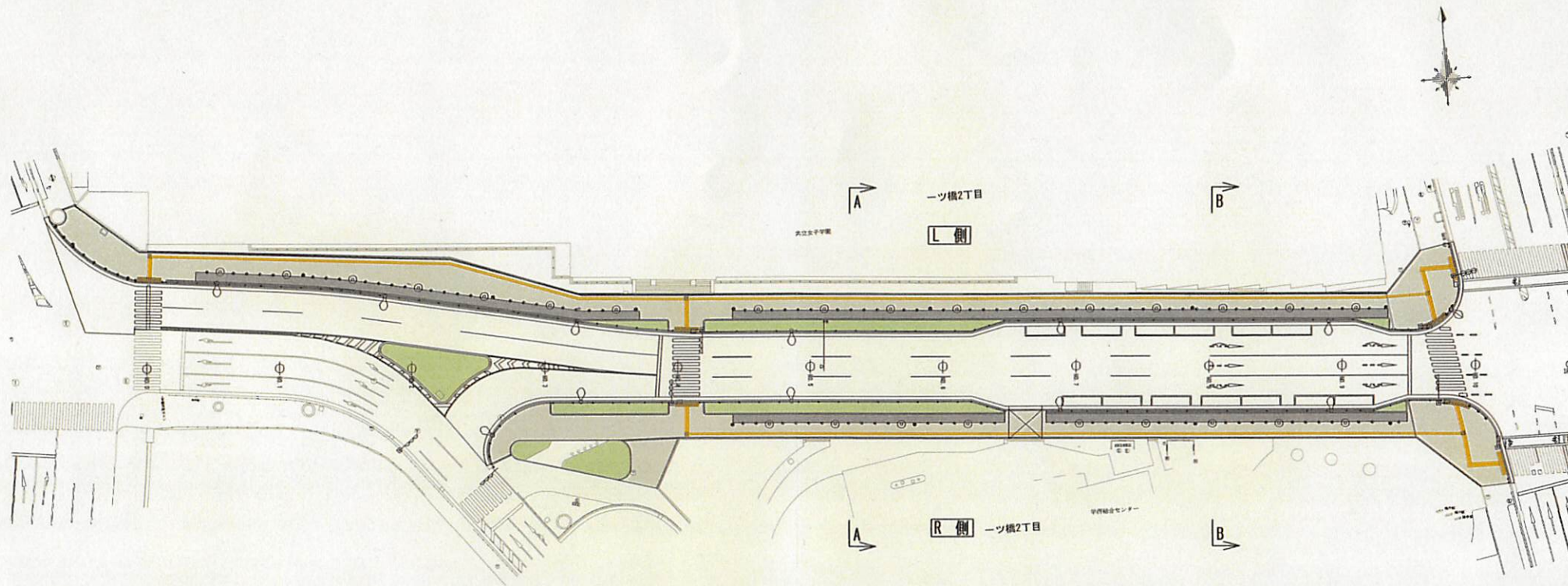
樹木総元		外観診断					精密・残置診断				
樹木番号	樹種名	部位判定			外観診断判定	樹幹径(樹上1.3m)	腐朽空洞	支持根切断	根上がり	地下支根腐敗(等電阻法)	備考
		根元	幹	大枝							
K001	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断ではB1判定だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K002	イチョウ	○	△	○	B1	無					幹に古傷を巻き込んだ痕があるが、現時点で問題はないため、残置可能。
K003	イチョウ	×	×	△	B2	大	○18%	○			開口空洞部を含めると40%近い空洞となる。また、支持根切断の可能性が高く、不健全に近い状態である。そのため残置は不適。
K004	イチョウ	△	△	△	B1	大	○18%	○			空洞は18%程度で、倒木の可能性は少ない値ではあるが、内部腐朽は明確である。支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K005	イチョウ	△	△	△	B1	大	○26%	○			空洞は26%程度で、調査の波形より心材腐朽が明確であり、腐朽が進行中である。また、支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K006	イチョウ	△	×	△	B2	大	○12%	○			空洞は12%程度で、倒木する可能性は低い値ではあるが、内部腐朽も初期段階で発生していると思われる。また、支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K007	イチョウ	○	△	△	B1	中	○10%				空洞は10%程度ではあるが、心材腐朽のため、今後定期的に観察を行っていく必要がある。支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K008	イチョウ	△	△	△	B1	中	○13%		○	○	空洞は13%程度ではあるが、心材腐朽のため、今後定期的に観察を行っていく必要がある。5年程度で、根上がりが発生する恐れがある。
K009	イチョウ	△	△	△	B1	無					空洞の閉塞痕が見られるが、内部腐朽はなく支持根切断の可能性も低いため、残置可能。
K010	イチョウ	△	×	△	B2	無	○25%				空洞は25%程度であるが、心材腐朽は発達中であり、キノコ(チャアナタケモドキ)が着生している。キノコによる腐朽進行は早く、植替えが望ましい(残置は不適)
K011	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K012	イチョウ	○	○	△	B1	大		○			外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K013	イチョウ	×	×	△	B2	中					樹皮欠損が大きいため、診断はB2だが、支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K014	イチョウ	○	△	△	B1	無	○18%				空洞は18%程度で、倒木する可能性は少ない値であり、支持根切断の可能性も低いことから、残置可能
K015	イチョウ	△	△	△	B1	特大		○	○	○	根上がりが非常に大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K016	イチョウ	○	△	△	B1	大		○			外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K017	イチョウ	×	×	×	B2	大	○14%	○	○	○	空洞は14%程度で、倒木する可能性は少ない値ではあるが、大きな開口空洞があり支持根を切断する可能性が高いことから、残置は不適。
K018	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K019	イチョウ	×	△	△	B2	大	○4%	○	○	○	根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高い。また、幹傾斜が大きいので、残置は不適。
K020	イチョウ	○	×	△	B2	無					樹皮欠損が大きいため、診断はB2だが、支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K021	イチョウ	○	△	△	B1	小	○4%				現状で根上がりは無く、空洞も4%程度のため、残置可能。
K022	イチョウ	△	○	△	B1	無					現状で根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K023	イチョウ	○	△	△	B1	小			○	○	樹皮欠損は見られるが、根上がりは小さいため、残置可能。5年程度で根上がり発生する恐れがある。
K024	イチョウ	○	○	△	B1	小					現状で根上がりは小さく、支持根を切断する可能性が低いため、残置可能。
K025	イチョウ	○	○	△	B1	無					現状で根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K026	イチョウ	×	×	△	B2	無	○8%				空洞は8%程度だが、腐朽が発生しており、定期的に観察を行っていく必要がある。支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K027	イチョウ	△	△	△	B1	無					樹体のバランスは悪いが、根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K028	イチョウ	○	○	△	B1	中					太枝に腐朽が多くみられるが、それ以外に目立った問題はないため、残置可能。
K029	イチョウ	○	△	○	B1	大		○		○	根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K030	イチョウ	○	○	△	B1	小			○	○	樹木に目立った問題はない。5年程度で根上がりを発生する恐れがある。
K031	イチョウ	△	△	△	B1	無					幹傾斜はあるが、特に目立った問題はないため、残置可能。
K032	イチョウ	△	○	△	B1	小					特に目立った問題はないため、残置可能。

○	:A...健全が健全に近い
△	:B1...被害が見られる
×	:B2...著しい被害が見られる

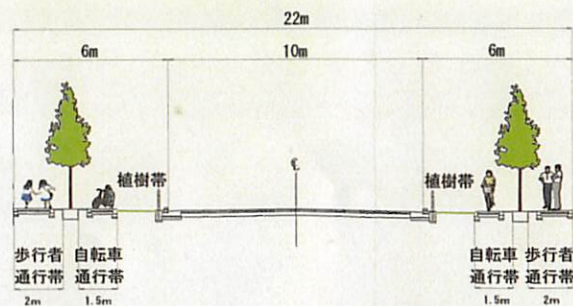
10%未満	:健全が健全に近い
10%~30%未満	:被害が見られる 倒木の危険は少ないが、要経過観察
30%~50%未満	:著しい被害が見られる 生育環境、形状により倒木の可能性がある。
50%以上	:不健全 倒木の可能性が高い



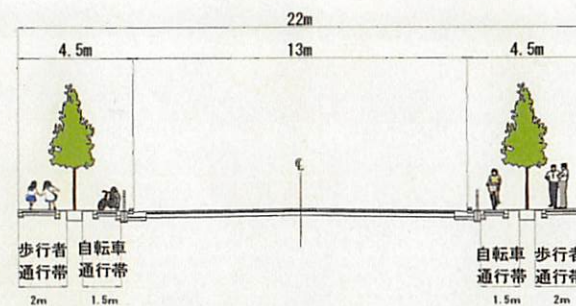
計画平面図 S=1:600 (S=1:300)



A-A(標準断面)



B-B(標準断面)

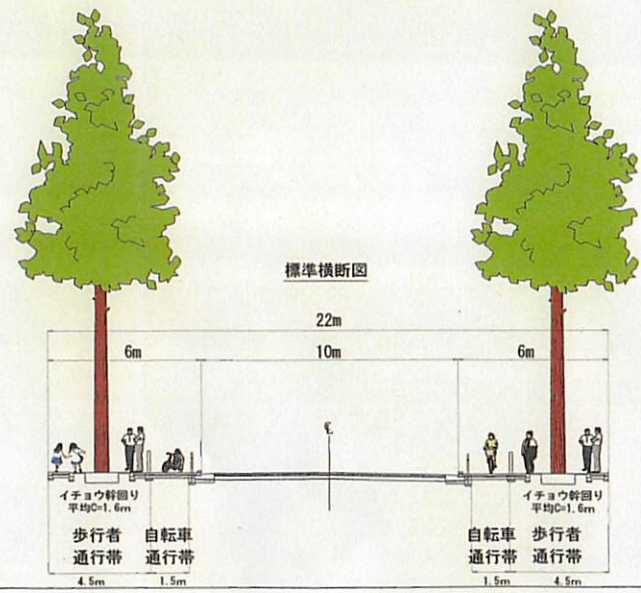
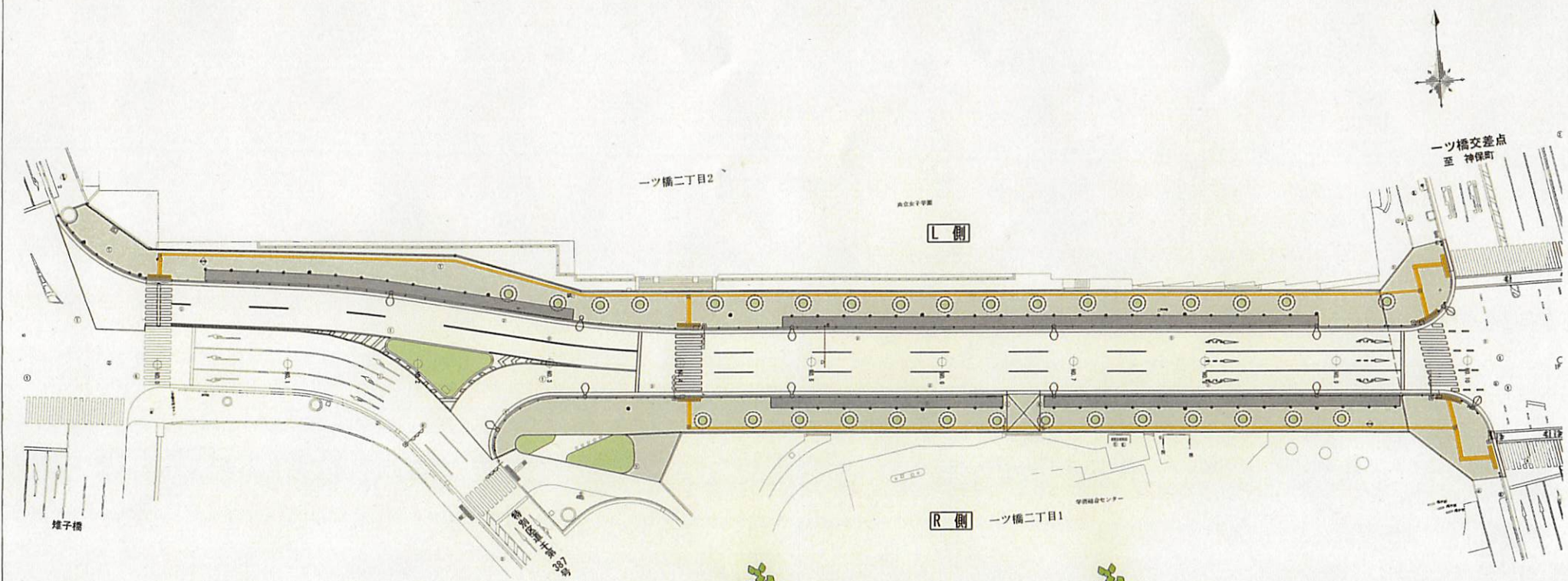


凡例

イチョウ用 ツツリサークル (内径600)	
自転車通行帯	
歩行者通行帯	



計画平面図 S=1:600 (S=1:300)



凡例

イチヨウ用 ツリサークル (内径1300)	
自転車通行帯	
歩行者通行帯	

イチヨウ用ツリサークル 平均C=1.6m

歩行者通行帯 4.5m

自転車通行帯 1.5m

イチヨウ用ツリサークル 平均C=1.6m

自転車通行帯 1.5m

歩行者通行帯 4.5m